

平成31年1月 データから見た業界の動き

■ 概 況

1月の山梨県内のDI値は、全体で売上高は▲4ポイント、収益状況は▲6ポイント、景況感▲8ポイントであり、前年比では収益状況は変わってはいないが、売上高と景況感は改善した。しかしいずれの値もマイナスであり、景気好調とは言えない状況にある。

製造業では、原材料の調達難や人手不足が続き売上高は▲15ポイント、収益状況は▲5ポイント、景況感▲10ポイントと、それぞれ対前年比で悪化した。ワイン業界では日本と欧州連合（EU）との経済協定（EPA）が2月から発効される事を控え安い欧州産のワインが国内に流通しシェアを拡大することを懸念しているとの報告、織物（インテリア）製造・木造住宅材料製造・半導体製造装置製造業からは消費税増税後の消費の冷え込みを予想する声があった。

非製造業では、青果小売業では降雨の無い天候の影響から葉物野菜の入荷量が減少、宿泊業界では天候は良好であったが観光客増加につながるイベント等が少ないことから宿泊客が減ったとの報告があった。非製造全体として売上高、収益状況、景況感ともに対前年比DI値は改善したが、昨年は特に冷え込みが厳しく消費が落ち込んでおりいずれもマイナス値であり、前月比においても減少している。

全業種において4月から施行される働き方改革への対応に追われることが予想される。原材料費・人件費等の経営コスト上昇傾向は引き続き強く、人手不足が慢性化し中小企業の経営は依然として深刻な状況である。

■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

● 製 造 業

食料品（水産物加工）	ギフト関係は社会変化の影響から97.5%。業務用は、大口先の取引が回復し上昇に転じた。全体売上高は前年同月比104.1%と前年を上回った。
食料品（洋菓子製造）	自社製品は専門店、量販店向けとも前年並だが、輸出向けが11月からの大幅増の反動から不振が続き売上高は87.4%。OEMは焼き菓子、冷凍ケーキが好調で113.4%。全体では前年同月比101.3%。
食料品（麺類製造）	原材料、ダンボール等の値上がりから、商品の値上げを検討中。
食料品（パン・菓子製造業）	人手の確保に苦慮しており、繁忙期は派遣社員を確保するが最近では外国人が多い。
食料品（酒類製造業）	2/1日欧EPA発効により安いEUワインが国内市場で大量に取引されることが予想される。国産ワインを消費者に選んでもらえるような取り組みを検討していく。
繊維・同製品（織物）	今月になりインテリアの注文は出てきてはいるが、全体的に動きは乏しい

木材・木製品製造	新築物件の見積もり、発注とも厳しい状況が続いている。毎年この時期は落ち込むが今年は予想以上の状況が続いている。
窯業・土石（砂利）	中部横断自動車道建設工事の終わりに近づいていることから、今後はリニア中央新幹線関連工事に期待している。
窯業・土石（山碎石）	完了を迎える工事の影響から舗装用の砕石需要が増加。このまま年度末に向かって好調が続くことを期待している。
鉄鋼・金属 （金属製品製造業）	前月までの稼働率上昇が少し停滞。いつまで続くかは不透明。
鉄鋼・金属 （金属被覆・彫刻業・熱処理業）	半導体製造装置はさらに落ち込みが続く。海外情勢の影響や消費税増税による消費の冷え込み等、大変厳しい状況が続くと予想される。
電気機器 （工作機械部品加工業）	半導体製造装置の発注は低迷。夏ごろまでは厳しい状況が続く。自動車関係や工作機械関係業種では仕事量が確保できている。

● 非製造業

卸売（紙製品）	これまで好調だった古紙市場は、中国の輸入制限が進んでいることから取扱量は減少し在庫が増加している。
小売（青果）	降雨量が少なく、葉物野菜の生育が悪く地物入荷量が減少した。今後の降雨が望まれる。
宿泊業	年末年始を含め1月は満室になる日が少なかった。今後の冬シーズンの観光の対策に集客力を上げるイベント等の開催を検討していきたい。
一般廃棄物処理	人手不足の影響から、業界では人手に頼らない方向に転換するため効率の良い設備・器具類の入れ替えに目を向けている。
警備業	人手不足による受注の減少と、賃金の引き上げ及び時間外手当支払い等により売上高・収益状況が悪化した。大手ゼネコンとの取引状況は良いが、中小ゼネコンとの労務単価は依然として安価に抑えられている。
建設業（型枠）	公共工事の着手の遅れから、3月以降多くの事業が始まることが予想される。また、民間工事においても消費税増税前の駆け込み物件が多く、人手不足が続いている。来年以降は消費税増税後の発注の減少やオリンピック需要も無くなるため、経営を不安視する企業も少なくない。
建設業（鉄構）	鋼材等の価格高騰により収益状況は悪化している。県外の物件に依存する傾向は変わらず、県内物件の増加に期待する。
設備工事（管設備）	水道法の一部改正により、指定給水装置工事事業者制度において指定事業者に対する更新制が導入された。今後は手続き等の概要について注視していく。
運輸（タクシー）	乗務員不足・高齢化が経営に深刻な影響を及ぼしている。キャッシュレス化の普及のための設備の導入が進んでいる。
運輸（バス）	人手不足が課題である。
運輸（トラック）	働き方改革への対応は現状のままではドライバーの賃金減少につながり、さらに人手不足は深刻になる。将来的に物流に障害が発生する懸念がある。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2018/1	2018/12	2019/1	2018/1	2018/12	2019/1	2018/1	2018/12	2019/1
売 上 高	15	0	0	-20	-3	-7	-6	-2	-4
収 益 状 況	0	0	-5	-10	-13	-7	-6	-8	-6
景 況 感	0	-5	-10	-27	13	-7	-16	6	-8

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I 値

